

## Xilinx® Vivado® Design Suite HLx Edition のサポートを開始

ローターバッハ社の世界をリードするデバッグツール、TRACE32®に Xilinx® Vivado® Design Suite が新たに統合されました。

### 2017 年 2 月 ヘーエンキルヒエン・ジーガーツブルン

マイクロプロセッサ開発ツールのトップメーカーであるローターバッハ社は、定評のある TRACE32®デバッグツールに Xilinx® Vivado® Design Suite を新たに統合したことを発表しました。これにより、Xilinx® Vivado® Design Suite はローターバッハ社の JTAG を介して Zynq®-7000 や Zynq® UltraScale+™ SoC に接続することができるようになりました。

TRACE32®の高度なデバッグ機能に加えて、統合されたロジックアナライザを介して、強力な診断機能、Vivado®の FPGA プログラミング機能、FPGA 内部信号解析をご活用頂けるようになりました。これらのツールはすべて、ローターバッハ社のハードウェアを共通のインターフェースとして接続して 同時に使用できます。

TRACE32®は、スタンドアロンまたはマルチコアシステム内で動作する ARM® Cortex®ベースのプロセッサおよび MicroBlaze™ ソフトコアに対応した完全なソフトウェアデバッグサポートを提供します。50 種類以上の組み込みリアルタイム OS のサポート、MMU 認識機能、ハイパーバイザサポートを備えた TRACE32®では、使いやすい単一のインターフェースからシステムのどの部分でもデバッグすることができます。

ローターバッハ・イギリス支社のセールスマネージャーを務める Barry Lock は、「ハードウェア、ソフトウェアを同時にデバッグする機能は、私たちのお客様が待ち望んでいた画期的な機能です。この統合は開発者に比類なき水準の可視性を提供し、高品質システムの適時開発の支援になると考えています」と述べています。

LAUTERBACH, TRACE32 µTrace and other LAUTERBACH products and services mentioned herein as well as their respective logos are trademarks or registered trademarks of LAUTERBACH. All other product and service names mentioned are the trademarks of their respective companies.